

大府市

所属議員

大西勝彦・三宅佳典・野北孝治

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応 ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現	
具体的取り組み項目	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への認知度の向上 ・次世代自動車の普及促進 ・交通安全の推進について 	
前回まで 活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民クラブより、ゼロカーボンシティ宣言の具現化に向けた取組みとして令和4年度予算要望書を市長に提出。(2021年9月) ・国会議員との懇談会の中で、補助金の申請期間のギャップの解消に向けた働き掛けを訴えた 	
今回 具体的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度予算について、ゼロカーボンシティ実現に向けた取組み内容で市民クラブで要望していた、次世代自動車の購入補助金の導入が決定 燃料電池車（FCV車）⇒50万円（年間5件） EV車・PHV車⇒30万円（年間60件） 合計2050万円を予算化 ・その他（CNの対応）会派での予算要望書での実現項目 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ができることを分かりやすく周知する PHV車（1台）を消防指揮車両に導入して、災害時に給電できる備えとして、また、イベント等で市民へのPHV車の重要性をPRしていく。 ・全公用車を次世代自動車に変更する 本年度は、4台の公用車をEV車に切り替え。 ・安全対策として、自転車のヘルメット購入の際に補助金を支給（年齢制限あり） 年度をまたぐ事業であるが、令和4年3月4日で一旦補助期間が切れて、4月1日から再開される。 ※市側に安全対策推進の立場から補助期間が切れないように働きかけたが断られた行政として県への補助金申請が必要なのは分かるが、補助期間が途中で切れることは安全対策を推進の立場から補助期間が切れないような対策を国から発信していただきたい事を国会議員の懇談会の場で申し上げた。 (令和4年3月21日 伊藤たかえ議員と実施) ⇒29日に伊藤たかえ議員より回答あり ※回答について、一定の理解はするが考え方の違いによる差についての不満は残る。 引き続き市民目線での是正に取り組んでいく。 	【伊藤たかえ議員からの回答】 一部抜粋 「補助金期限締め切りが年度末になっていない、年度末に統一すべし」とのご指摘に対して補助金の申請期限について調査しました。最初にご指摘いただいたエコカー補助金を所管する経済産業省からは、 ・政府の予算は、財政法上年度末までに完了し、経費を支出することになっております。完了の手続きがあるため、年度末に至る前に補助金等の受付を終了させる必要がございます。 ・一方、次年度の予算執行は、補助金等を交付する事務局の選定等の手続きがあると、補助金等の受付は年度初めから一定期間をおいて開始することとなります。 ・事業者の皆様が準備して申請できるよう、公募期間の周知に努めるため御理解いただきたい。 とのことです。
今後の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に要望内容のチェック・フォロー ・常任委員会での質疑 ・所管部署へのヒヤリング 	